

すこやか

第39号

2012/7/10

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

老年内科

だいじょうぶ

大丈夫、

としそうおう

その物忘れは年齢相応ですよ

最近、テレビや雑誌で認知症の話題がよくとり挙げられます。皆さんの身近にも認知症の患者さんがおられるかも知れません。ご自身のこと、あるいはご家族のこと、**「物忘れが多くなった」と心配されている方もある**と思います。

物忘れは大雑把に3つに分類できます。①何の心配もいらない年齢相応の物忘れ、②早く見つけてきちんと治療すれば治る物忘れ、③少しずつ進行していく物忘れ（いわゆる認知症）の3つです。



認知症の研究はまだ進んでいるとは言えず、今のところ、認知症を予防したり治したりする確かな方法はありません。それでも、いろんな事が少しずつ分かってきています。例えば、食事や運動などの生活習慣が認知症と密接な関係があることがわかりました。逆に言うと、認知症になりたくなければ糖尿病などの生活習慣病になりにくい生活を心懸けると良いかも知れないのです。また、脳の神経に作用する薬の中に、初期のアルツハイマー型認知症の症状を改善したり、病気が進むのを遅くしたりする働きがあると言われていています。つまり、アルツハイマー型認知症は、できるだけ早く見つければ打つ手があるということです。

先ほどの3つの物忘れは簡単には見分けが付きません。特に初期のアルツハイマー型認知症を見分けるのは非常に難しいものです。私たち老年内科は、認知症の専門医ではありませんが、かかりつけ医の先生からご紹介いただいた物忘れが気になる患者さまの診断をお手伝いしています。専門医でないだけに、より慎重に診察を行い、ご家族からもお話をうかがい、詳しい認知機能検査と、脳の画像検査（MRI、脳血流）もあわせて診断させていただきます。おおよそ3～4週間くらいの間に3～4回通院していただくこととなりますが、物忘れを気にされている方はかかりつけ医の先生に相談されて、老年内科へ紹介状をお持ちになり、ご家族とご一緒に受診してください。

老年内科主任部長 中村 好男

—— 放射線治療機器（リニアック）が 新しくなりました ——

放射線治療は、体を傷つけることなく、外からがんを撃退、からだに優しい治療です。放射線ががんに効くメカニズムは、主に細胞のDNAを傷つけることにありますが、がん細胞のほうが正常の細胞よりも放射線に弱いことを利用して、がん治療に役立てています。現在、放射線治療は、頭頸部癌、乳癌、肺癌、食道癌、前立腺癌、子宮癌その他、あらゆるがん治療において、手術や抗がん剤治療とともに、重要な役割を担っています。

新しい放射線治療装置（リニアック）では、より速く、正確に、ピンポイントに病巣をねらい、副作用の少ない、患者さんにより優しい治療が実現します。新しい装置の特長としては、

- ① リニアックに搭載されたX線撮影装置によって、病変の位置をmm単位で正確にとらえ、治療することが可能です。
- ② 5mm幅のマルチリーフコリメーターと呼ばれる絞りをを使って、照射野（放射線をあてる形）を細かく整形したり、照射野の形状を複雑に変化させながら照射することが可能となり、正常な組織を避けて、より病巣のみに絞り込んだ治療が実現します。
- ③ 1回の照射にかかる時間が短くなり（約1分弱）、患者さんの負担が少なくなります。
- ④ 必要に応じて、呼吸の動きにあわせた照射が可能です。

放射線治療技術の進歩により、癌の種類や進行度によっては、手術と治療成績がかわらないものもあり、体への負担が少ない放射線治療を受ける患者さんも増えています。また、手術、抗がん剤、放射線治療を組みあわせて、治療を行う場合も数多くあります。このように高まるニーズにも十分に答えられるよう、新しいリニアックでの放射線治療を進めています。



放射線科医長 近藤 聖子

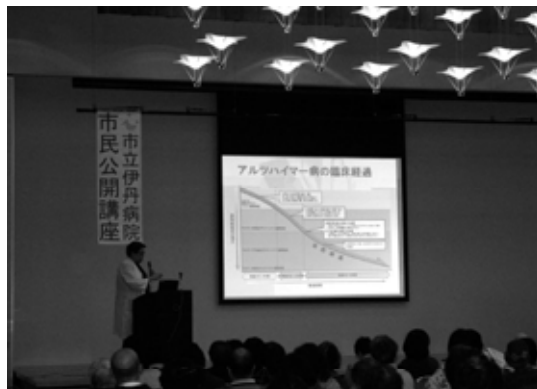
地域医療支援病院の承認を受けて

当院は平成23年11月9日付けで兵庫県知事より地域医療支援病院の承認を受けました。地域医療支援病院のいくつかの役割の中に紹介患者に医療の提供および救急医療の提供などの項目があります。

そこで、当院を初めて受診される患者さんの場合は、第1線の地域医療を担うかかりつけ医およびかかりつけ歯科医の先生方の紹介状をお持ち下さることで能率良く、適切な医療を受けることができます。

一方、当院では医療の情報を市民の皆様提供する目的で、当院の医師たちが、『市民公開講座』を毎年数回実施しております。下段は先日、開催されました市民公開講座『知って安心、関節の病気』と『認知症の話』の風景ですが、200名以上の多数の市民参加を頂きました。

今後も皆様と共に歩み、質の高いより良い医療を提供致してまいります。



市民公開講座

「元気に歩こう！～関節の病気のお話～」

日時：平成24年7月26日（木）14：30～（約2時間）

場所：スワンホール 3階 多目的ホール

内容：「リウマチ診療の今～元気な関節を取り戻そう！～」
（市立伊丹病院 アレルギー疾患リウマチ科 部長 寺田 信）
「膝関節の痛みと最新の治療法」
（市立伊丹病院 整形外科 医長 川島 邦彦）

参加料：無料（申し込みは不要、当日直接会場へ）
手話・要約筆記あり

地域医療連携室

ガーデンコンサートが開催されました

去る平成24年5月8日（火）午後4時から、当院の中庭「花とやすらぎの空間」において、ガーデンコンサートが開催されました。

「伊丹カメラータ弦楽四重奏団」に出演いただき、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロが奏でる美しい弦楽四重奏の調べに、患者さんをはじめ約70名の観客が酔いしれ、新緑かおるさわやかな春のひとときを過ごされました。

当院患者サービス向上委員会では、今後も9月と12月にロビーコンサートの開催を企画し、皆様に癒しのひとときを提供していきたいと考えていますので、ぜひ、お越しください。

☆ 医師の人事異動がありました。

採 用		退 職	
平成23年11月1日		平成23年8月31日	
老年内科医員	大島和典	老年内科副医長	島岡泉
平成23年12月1日		平成23年9月30日	
麻酔科医長	竹村瑞恵	外科部長	平岡伸章
平成24年1月1日		糖尿病内科専攻医	
外科医員	日浦祐一郎	星杏	
呼吸器外科専攻医	福田俊一	平成23年11月30日	
平成24年4月1日		皮膚科専攻医	奥山歩美
アレルギー疾患リウマチ科部長	寺田信	平成24年3月31日	
歯科口腔外科副医長	赤垣俊輔	小児科医員	山田博之
呼吸器内科医員	高田哲男	消化器内科医員	満田千晶
消化器内科医員	三浦由雄	外科医員	野口幸藏
消化器内科医員	山口典高	呼吸器内科専攻医	三上高司
外科医員	前島純典	呼吸器内科専攻医	高田哲男
消化器内科医員	竹村貴代	呼吸器内科専攻医	中村敬彦
外科専攻医	勝山晋亮	歯科口腔外科専攻医	中村寛之
外科専攻医	桑原隆一	消化器内科専攻医	山口典高
呼吸器内科専攻医	松永仁綜	消化器内科専攻医	三浦由雄
呼吸器内科専攻医	菅泰彦	整形外科専攻医	中井隆彰
消化器内科専攻医	小山秀和	小児科専攻医	髭野亮太
消化器内科専攻医	大内祥平	臨床研修医	大内祥平
小児科専攻医	山本翔大	臨床研修医	大西厚範
整形外科専攻医	橋本国彦	臨床研修医	北村成司
整形外科専攻医	大西厚範	臨床研修医	菅泰彦
臨床研修医	浅井健佑	臨床研修医	橋本国彦
臨床研修医	井上大輔	臨床研修医	山本翔大
臨床研修医	植阪真弓	歯科臨床研修医	坂根有紀
臨床研修医	立岩大輔	平成24年6月30日	
臨床研修医	南知里	老年内科医員	大島和典
臨床研修医	向井工リ	消化器内科医員	竹村貴代
歯科臨床研修医	土井基司		
平成24年6月1日			
皮膚科副医長	吉見宣子		
平成24年7月1日			
老年内科部長	中川雄介		
循環器内科専攻医	小池隆夫		

～ 保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～